

知の頂点は Diversity から！ (多様性)

男女共同参画加速のための宣言 を発表しました。



東京大学は、男女共同参画を加速するため、「U7“男女共同参画”に係る共同宣言」(2008.10.1)に基づき、以下のとおり行動する。

1. 教員・研究員を公募する際に、女性の応募を歓迎する旨を明示する。
2. 公正に行った評価に基づき、女性研究者を積極的に採用する。
3. 仕事と生活の調和を目指し、公的な会議は原則として17時以降行わない。

2009年3月3日 東京大学



《経緯と目的》

東京大学では、「東京大学アクション・プラン2005-2008」の2006年改訂版において「次世代育成支援及び男女共同参画のための環境整備」を掲げています。その中で、本学の女性研究者の割合が低いことを鑑み、優秀な女性が研究者への進路を選択し研究継続することを促進するための全学的かつ包括的な支援や取組が必要であるとしています。

2008年5月現在の東京大学常勤女性研究者の割合は9%と、世界トップレベルの諸大学に比べて極めて低く、女性研究者の参画加速が必要な状況にあります。2007年に採択された文部科学省科学技術振興調整費事業「東大モデル“キャリア確立の10年”支援プラン」では、2010年3月までに常勤研究者の女性採用比率を25%以上とする等の数値目標を定めました。

また、2008年、学士会館にて開催された「七大学男女共同参画・女性研究者支援部門合同シンポジウム」では、七大学の総長が列席し、「U7“男女共同参画”に係る共同宣言」を発表しました。この共同宣言の理念に基づき、東京大学では行動に移すための宣言を作成することにしました。

東京大学は、機会均等に根ざした豊かな多様性を確保することにより、時代の先頭に立ち世界の知の頂点を築くことを目指しています。その一環として、「男女共同参画加速のための宣言」を行い、3つの項目を実行することにより、女性研究者の活躍を加速していきます。